

# 香川県の気象業務の始まり

## 創立 70 周年を迎えて

高松地方气象台は、2011 年(平成 23 年)、前身である高松測候所の創立(1941 年(昭和 16 年)3 月 31 日)から満 70 年を迎えました。

今日ある高松地方气象台の沿革をたどります。

## 香川県の気象業務の始まり

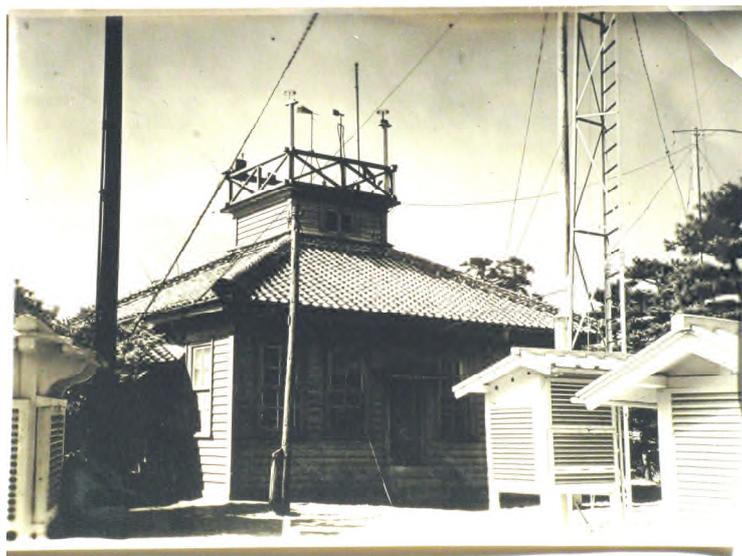
我が国における気象業務の開始は北海道函館に気候測量所が開設(1872 年 8 月 26 日)されたことにさかのぼります。1875 年 6 月 1 日には、東京气象台(気象庁の前身)で気象業務が開始され、さらに全国への業務展開が図られました。

香川県初の気象観測所としては、1892 年 7 月 1 日に多度津測候所が創立(当初は所長ほか所員 1 名)され、1 日 6 回の気象観測を開始しています。

多度津測候所は、高松測候所が創立されるまでの間、香川県における気象業務の中心的な役割を担いました。現在も多度津特別地域気象観測所(無人観測所)として、約 120 年にわたる気象観測を継続しています。

## 多度津測候所の沿革

1892. 7. 1 (明治 25)	香川県立多度津測候所を創立、気象観測を開始(当初は仮事務所で業務)
1892. 8. 1	測候所庁舎完成
1893. ~	県内各地に観測所(14 か所)を開設
1909. 1. 1	天気予報の発表開始
1939. 11. 1	国へ移管
1941. 9. 1	県内の観測所業務を高松測候所へ移管
1964. 3. 30	新庁舎完成
1981. 4. 1	夜間業務を廃止
1992. ~	創立 100 周年
2001. 3. 1	特別地域気象観測所(無人化・自動化)となる



創立時ごろの多度津測候所庁舎  
庁舎は、多度津町の海岸沿いに建てられました。木造の平屋で、瓦ぶきの庁舎上部には観測台が設けられています。

# 高松測候所の創立

## 高松測候所創立の経緯

1938年(昭和13年)香川県議会において、県立多度津測候所を高松市へ移転することが議決されました。これを受け、当時の多度津測候所長が建設地を物色し、高松市立第一中学校南側を第1候補地、香川郡太田村伏石字初たん地1280番地(現在の高松市伏石町)を第2候補地として選定しました。

この移転は経費の面から容易には実現しませんでした。1939年11月、高松市に国立の高松測候所を新設することが内定しました。これを受けて、1940年6月、高松市が伏石町字初たん地1280番地(1,185坪)を買収のうえ、県当局

を經由して政府へ測候所敷地寄付の採納願いを出し、その許可を得ました。同年12月1日、高松測候所の建築工事を開始。1941年(昭和16年)3月31日高松測候所庁舎及び付属屋並びに官舎が竣工し、同年9月1日から業務を開始しました。高松測候所の当初定員は10名でした。



測風塔から北方を望む(1951年頃)  
周囲には田畑が広がっていました。



創立時ごろの高松測候所庁舎(1951年頃)

# さまざまな気象業務の開始

## さまざまな気象業務の開始

高松測候所が創立され、気象観測、地震観測、潮位観測、天気予報の発表などさまざまな気象業務を開始しました。また、多度津測候所で行っていた県内の観測所業務も移管され、高松測候所は香川県の気象業務の中心的な役割を担うことになりました。

この間、気象業務の進展に伴い、高松測候所の組織や名称の変遷もありましたが、1949年11月には高松地方気象台と改称し現在に至っています。

さらに、1960年3月には、現在地(伏石町)に新庁舎(現庁舎)が竣工し、1948年から市内四番町庁舎に分かれて行っていた気象観測以外の業務についても、新庁舎で合せて行えるようになりました。



新庁舎の竣工(1960年3月)

現在の高松地方気象台は、香川県の気象業務ばかりでなく、四国地方の予報業務の中核機関としての役割も果たしています。

## 高松地方気象台の沿革(～1960)

(さまざまな気象業務の開始)

1941. 3. 31 (昭和16)	高松測候所を創立
1941. 9. 1	気象観測を開始 県内の観測所業務を多度津測候所から移管
1941. 9. 15	天気予報の発表開始
1941. 12. 25	地震観測を開始
1945. 8	高松管区気象台と改称 (測候所を併置)
1946. 6. 14	週間天気予報の発表開始
1946. 10. 30	季節予報の発表開始
1948. 5. 1	観測課を除き四番町庁舎へ移転(～1960. 3)
1949. 1. 1	潮位観測を開始(高松検潮所)
1949. 6. 1	高松測候所を廃止
1949. 11. 1	高松地方気象台と改称
1957. 2. 1	高松空港分室を創立(現在は関西航空地方気象台高松空港出張所)
1960. 3. 10	新庁舎完成(現在の第一庁舎)

# 気象業務の拡充

科学技術の進展も背景にしつつ、観測施設の整備や気象情報等の充実が図られてきました。近年の情報通信技術のめまぐるしい発展に伴い、防災気象情報の高度化がさらに進められています。

## 高松地方気象台の沿革(～2010) (観測施設の整備、気象情報等の充実)

1974. 11. 1 (昭和 49)	県内のアメダス(雨)の運用開始
1977. 7. 14	静止気象衛星「ひまわり」(1号)が打ち上げられる
1978. 1. ～	県内のアメダス(四要素)の運用開始
1983. 10. 1	記録的短時間大雨情報の運用開始
1986. 3. 1	降水確率予報の発表開始
1988. 4. 1	降水短時間予報の開始
1989. 6. 1	週間天気予報の毎日発表を開始
1994. 4. 1	津波地震早期検知網の運用開始
1996. 3. 1	分布予報、時系列予報の発表開始 1か月予報の毎週発表を開始
1996. 4. 1	計測震度計の運用開始
1999. 4. 1	津波予報区の細分化(「香川県」を津波予報区)

2000. 7. 11	土器川洪水予報の開始 (国土交通省と共同発表)
2001. 3. 1	多度津特別地域気象観測所を設置(多度津測候所を無人化)
2001. 4. 19	局地的気象監視システム(ウィンドプロファイラ観測網)運用開始
2004. 6. 1	降水ナウキャストの開始
2006. 7. 28	香東川洪水予報の開始 (香川県と共同発表)
2007. 4. ～	台風予報の充実(進路予報を3時間刻み)
2007. 6. 1	土砂災害警戒情報の開始 (香川県と共同発表)
2007. 10. 1	緊急地震速報の一般提供開始
2007. 12. 1	地震動警報・火山現象警報の開始
2008. 3. 26	竜巻注意情報の開始 異常天候早期警戒情報の提供開始
2009. 4. ～	台風進路予報の予報期間の5日先まで延長
2010. 5. 27	市町村対象の警報・注意報を開始(県内17市町) 雷ナウキャスト・竜巻発生確度ナウキャスト開始

《2011年、創立70周年を迎える》